

公益財団法人神奈川県公園協会
七沢森林公園における新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン
施設利用編

令和3年2月9日

1 ガイドラインの目的

七沢森林公園の公園施設利用における新型コロナウイルス病原体による公園利用者や公園協会職員（以下、「指定管理者」という）への感染リスクを最小限とするため、指定管理者が実施時に配慮すべき事項を明示することを目的とする。

2 本ガイドラインの位置づけ

国及び神奈川県が示す最新の「基本的対処方針」及び「方針に基づく通知」、「事務連絡」等に基づいてガイドラインを定め、運用する。なお、これらの方針等の改定に応じて逐次修正を行う等、ガイドラインの適切な運用を図る。

施設の利用に共通する項目については、当協会が定める「都市公園等における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に基づき対応する。

3 各園内施設の対応

3-1 管理事務所

(1) 施設管理者の対応

受付時の対応

- ・施設の入り口には、手指消毒剤を設置する。
- ・受付窓口には、アクリル板、透明ビニールカーテン等で遮蔽する。
- ・現金の受け渡しはコイントレーを使用する。

施設の消毒、清掃

- ・人の手が触れる箇所（手すりやドアノブ、テーブル等）を小まめに消毒・清掃する。

密回避の対応

- ・密閉空間にしないよう、こまめな換気を行う
- ・2方向の窓を1回数分程度、毎時2回以上全開にする

利用者への周知

- ・上記内容を公園ホームページ、園内掲示等にて周知する

(2) 利用者に協力を促す事項

感染拡大予防対策の徹底

- ・発熱や風邪の症状等がある方は利用を自粛する。
- ・利用前に手洗いや手指消毒を行う。
- ・咳エチケット、マスクの着用など行う。

密の回避

- ・人との距離を2 m（最低1 m）確保し、密集を避ける。
- ・大きな会話や発生を控え、密接した会話を避ける。

3-2. 森の民話館

(1) 施設管理者の対応

受付時の対応

- ・施設の入り口には、手指消毒剤を設置する。
- ・現金の受け渡しはコイントレーを使用する。
- ・利用者が距離を置いて休憩できるように目印の設置等を行う。
- ・利用者には発熱や風邪の症状等の体調の聞き取り、連絡先の把握を行う。
- ・クラフト体験、イベント参加者には、利用代表者から、利用者全員の検温結果、体調について、ヘルスチェックリストを提出してもらい保管する。
- ・発熱や風邪の症状等が報告された場合は、無理せず自宅療養してもらい、利用を断る。

施設の消毒、清掃

- ・人の手が触れる箇所をこまめに消毒する。(施設利用後の入れ替え時間帯に行う)

密回避の対応

- ・窓がある施設は、2方向の窓を、1回数分間程度、毎時2回以上、全開にする。
- ・民話館の利用定員は、1利用あたり最大12名までとする。また、クラフト体験は6名とする。

利用者への周知

- ・上記の内容を各公園ホームページや園内掲示等にて周知する。

(2) 利用者に協力を促す事項

感染拡大予防対策の徹底

- ・利用前に、手洗いや消毒を行う。
- ・咳エチケットの徹底
- ・マスクの着用(熱中症防止の観点でやむを得ない場合を除く)。
- ・ボディチェッカーの周辺に消毒液を置き、指が触れる箇所を消毒していただく。

密の回避

- ・人との距離を2m以上確保し、密集を避ける。(競技を行う上でのやむを得ない場合を除く)
- ・大きな会話や発声を控え、密接した会話を避ける。

3-3. 森のアトリエ

(1) 施設管理者の対応

受付時の対応

- ・施設の入り口には、手指消毒剤を設置する。
- ・現金の受け渡しはコイントレーを使用する。
- ・利用者が距離を置いて陶芸体験等ができるように目印の設置等を行う。
- ・利用者には発熱や風邪の症状等の体調の聞き取り、連絡先の把握を行う。
- ・陶芸体験及びこえだ工作、楽焼体験やイベント参加者には、利用代表者から、利用者全員の検温結果、体調について、ヘルスチェックリストを提出してもらい保管する。
- ・発熱や風邪の症状等が報告された場合は、無理せず自宅療養してもらい、利用を断る。

施設の消毒、清掃

- ・人の手が触れる箇所をこまめに消毒する。(施設利用後の入れ替え時間帯に行う)

密回避の対応

- ・窓がある施設は、2方向の窓や扉を、1回数分間程度、毎時2回以上、全開にする。
- ・利用定員は、1利用あたり最大20名までとする。

利用者への周知

- ・上記の内容を各公園ホームページ、園内掲示等にて周知する。

(2) 利用者に協力を促す事項

感染拡大予防対策の徹底

- ・利用前に、手洗いや消毒を行う。
- ・咳エチケットの徹底
- ・マスクの着用（熱中症防止の観点でやむを得ない場合を除く）。
- ・陶芸やこえだ工作の道具は、使用後に消毒液で指が触れる箇所を消毒していただく。

密の回避

- ・人との距離を2m以上確保し、密集を避ける。
- ・大きな会話や発声を控え、密接した会話を避ける。

公益財団法人神奈川県公園協会
七沢森林公園における新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン
イベント編

令和3年2月9日

1 ガイドラインの目的

七沢森林公園で行う各種イベント及び公園まつり等（以下、「イベント等」という）における新型コロナウイルス病原体による公園利用者や公園協会職員（以下、「指定管理者」という）への感染リスクを最小限とするため、イベント等の主催者や指定管理者が実施時に配慮すべき事項を明示することを目的とする。

2 本ガイドラインの位置づけ

国及び神奈川県が示す最新の「基本的対処方針」及び「方針に基づく通知」、「事務連絡」等に基づいてガイドラインを定め、運用する。なお、これらの方針等の改定に応じて逐次修正を行う等、ガイドラインの適切な運用を図る。

イベント開催のための共通項目については、当協会が定める「都市公園等における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に基づき対応する。

3 指定管理者が共催（以下、共催者という）となる場合、配慮する事項

共催者は、前述の各方針やガイドラインに基づいて、主催者とともに適切に実施するものとする。また主催者の分担が、イベント運営業務の全般である際は、共催者は、主催者が当配慮事項を適切かつ確実に遂行しているか確認し、不備がある場合は指導を行う。

4 イベントの形態別の対策について

(1) 大規模イベント（屋外）・・・ななさわ緑のまつり、あつぎ七沢森のまつり

- ・指定管理者が主催する「ななさわ緑のまつり」（屋外）は、多方面からの不特定多数の来場者が見込まれ、入場者数の管理や連絡先の把握等の対応が困難なことから、当面の間、開催を見合わせることにする。
- ・指定管理者が実行委員会のメンバーとなって行う「あつぎ七沢森のまつり」（屋外）は、実行委員会が感染症拡大防止対策を徹底し、確実に履行されることが明らかな場合に限り、開催を認める。

(2) 体験型イベント・観察会等（屋外）・・・自然観察会、森林セラピー体験ウォーク等

- ・イベント参加者の三密を避けるため、自然観察会は定員5名、森林セラピー体験ウォークは定員5名、ツリークライミング体験会は定員10名にし、事前予約制とする。
- なお、ノルディックウォーキング体験、アルプホルン演奏会、森林づくりボランティアについては三密が回避できることから定員を設けないこととする。
- ・主催団体は、参加者の検温及び参加者同士の社会的距離を確保し、その案内指導を行う。（園内の移動や集合しての案内指導では最低1m以上の間隔を確保する）
- ・受付場所は1ヶ所とする。

- ・大声での会話は控えるよう案内指導する。
- ・イベント参加者に貸し出す物品は、利用後に公園で消毒・清掃を行う。

(3) 七沢体験イベント・陶芸体験、クラフト体験等（屋内）・・・木工講座、陶芸体験等

- ・七沢体験イベントは、飛沫の発生、密集・密接を防ぐ観点から定員を設定して事前予約制とする。
- ・室内を常に換気し、密室の環境を作らないようにする。
- ・公園職員は、参加者同士の社会的距離を確保し、説明や案内指導を行う。
- ・陶芸体験（定員10名）、楽焼・こえだ工作体験（定員10名）、クラフト体験（定員6名）は、飛沫の発生、密集・密接を防ぐ観点からイベント参加者以外の家族等を施設内に入れない。
- ・受付場所は1ヶ所とする。

(4) 体験型イベント（各種教室等）・・・陶芸教室、木工教室、陶芸サークル等

- ・受付時に体調確認及び検温を行い、体調不良の方は参加させない。
- ・室内を常に換気し、密室の環境を作らないようにする。
- ・室内での作業が長期滞になるため、2時間に1回は教室内の窓等開放し十分に換気する。
- ・講師等は、参加者同士の社会的距離を確保し、説明や作業を行うよう注意する。